



亀山市合同山岳事故対応訓練の実施について ～登山の安全を守るために～

亀山市は、来る8月10日（金）8時30分から12時30分まで、鈴鹿山系の鬼ヶ牙登山道を主会場として、総勢約60名が参加する亀山市合同山岳事故対応訓練を実施いたします。

本訓練は、山岳地帯においての滑落事故を想定したもので、亀山市消防山岳救助隊と三重県亀山警察山岳警備隊が連携し、岩山で滑落により宙吊りになった登山客を救出する救助訓練及び担架搬送訓練を実施するとともに、上空から三重県警察航空隊による搜索訓練と三重県防災航空隊による吊り上げ救出訓練を実施するもので、各関係機関それぞれの活動強化と連携体制を確立し、山岳事故発生時における対応力の向上を目的としております。

これまで、平成25年に山岳遭難に係る搜索及び救助を目的として、「亀山市消防山岳救助隊」を発足させ、万が一の山岳事故に備えて訓練を行っているところですが、今回、初めて三重県警察航空隊の参画を得て、規模を拡大し、実施するものです。

また、このような訓練を重ねることで、本年度締結いたしました『亀山7座トレイル』登山道観光資源活用協定締結を契機に、今後増加することが予想される多くの登山客の皆様が、安全で安心して登山を楽しんでいただくことにつながると考えております。

なお、詳細につきましては、別紙の資料をご覧くださいと存じます。